

オンラインで学ぶ!

患者さんの信頼と満足度を高める

メディカル・タッチ接遇研修

～看護の原点 "患者さんに触れるケア" に特化した接遇研修～

医療接遇は企業接遇(接遇マナー)とは違い、患者さんのお体に触れることが前提で行われます。今までの接遇を患者さんに触れる視点から見直し、患者さんに安心・安楽をもたらす"触れる接遇"を身につけることで、バイタルサイン測定や清拭、体位変換などの普段のケアが患者さんと心の通じ合うケアリングの時間になります。さらに患者さんとの信頼関係を築くコミュニケーションのきっかけにもなる看護力を向上するスキルアップセミナーです。

エビデンスに基づいた触れる技術の法則を、やさしく解説します

触れることが、なぜ患者さんの不穏をやわらげるのか、コミュニケーションとしての触れることの効果など学んですぐに実践できる根拠に基づいた触れる接遇が学べます。

触れる接遇とは

触れる接遇は、看護師だからこそできる患者さんのための接遇です。看護では患者さんに触れる場面がたくさんあります。当たり前すぎて見過ごされがちですが、触れることは"看護の原点"です。思いやりを形にした心地よく触れるケアは、患者さんの苦痛をやわらげ、安楽をもたらします。

とはいえ、むやみやたらに触ればいいというものではありません。根拠をもって触れることで安全にそして効果的に安楽をもたらすことができるのです。

メディカル・タッチ

メディカル・タッチは触覚を利用したリラクセス法です。筋肉やリンパでなく、肌にあるC触覚線維にアプローチします。温かく羽のように軽いタッチが特徴です。「タッチングの5原則 PARTS」を使って患者さんの抱える不安、緊張、抑うつなどの辛さをやわらげます。

講師 見谷 貴代

看護師



神戸大学医学部卒業。神戸薬科大学・大阪樟蔭女子大学非常勤講師。病院、介護施設、企業などで研修講演を多数実施。緩和ケア病棟、産婦人科、高齢者施設等で5,000人以上の患者にタッチングを実施し、研究は看護技術学会誌※に掲載されている。

※見谷貴代ら。日本看護技術学会誌。125-130(2018)

著書「看護にいかず触れるケア」

終末期、がん、認知症、病棟、在宅、看護教育等あらゆる看護の場面、多様な患者に活用できるタッチングの専門書。触れることの意義や作用機序、活用の他に具体的な導入の仕方などを解説

Amazon、楽天、紀伊國屋、ジュンク堂など主要書店で販売中!



申込
方法

▼メールでお問合せ・お申し込み

mail info@aegle-llc.com

※資料請求は上記のメールからご連絡ください

▼ホームページから研修動画
サンプルが視聴できます

<https://www.medical-touch.org/training/>



研修実績

JA厚生連 帯広厚生病院、大阪医療センター産科、彦根市立病院緩和ケア科、山田兄弟歯科、チャイルド・ケモ・ハウス、医療法人社団 見郷会、エレガリオ神戸、株式会社ウィザス、介護付き有料老人ホーム ルナハート千里丘の街・他

こんなお悩みはありませんか？

- 患者さんの満足度を上げたい ●スタッフのモチベーションを上げたい ●リピート率を上げたい
- 患者さんの不安や苦痛をやわらげたい ●治療の悩みや本音を聞き出すきっかけが欲しい

≫触れる接遇研修が解決の糸口になります！

看護に特化した 研修内容

目の前の患者さんに、どのようにしたら安心・安全で心地よく過ごしてもらえるのか。笑顔や声かけを超えて患者さんの心に訴えかける看護独自の接遇を学びます。

実践力重視の 体験型研修

実際に触れることの効果を、ワークを通じて体感しながら触れる接遇をスキルアップしていきます。

エビデンスに基づいた 独自の接遇研修

触れることの効果や作用機序をエビデンスに基づいて解説します。触れることの根拠が分かるので、自信をもって触れる接遇ができるようになります。

研修を受けた看護師の声



Comment

自分が思っているより、こちよさが大切であること。こちよさが、「安心」を与えたり、安楽をもたらすことがわかった。実践することによって、患者さまの立場で改めて日々の業務を見直すことが出来ました。大変な時期ですが、多くの人に研修されて尊敬いたします。

※コロナ禍で行われたオンライン研修の看護師さんの感想です。

Comment

触れるケアは医療接遇というワードがとても印象的で、すばらしい看護技術の一つなんだと感じた。

Comment

言葉で伝えることはもちろん、触れるケアも患者へ大きな安心感を与え、信頼関係をつくる大切な方法であると感じた。

Comment

普段、あまり深く考えずにタッチングしていましたが、思っていた以上に「触れるケア」がもたらす効果は多く、驚きました。

Comment

人と人が関わる仕事の中で、人の温もりの大切さを改めて感じたので病棟スタッフと共有し、実践していきたいです。

研修概要

対象者	看護師 ※看護師さんと同時受講の場合は、他の医療職者の方もご受講いただけます。
時間	2時間
定員	20名 ※少人数の受講の場合は応相談。
費用	176,000円(税込) <本体価格：160,000円> ※21名様以上、1名あたり5,000円

※講師派遣型の研修もございます。ご希望の場合はお問合せください。
※オンラインでご受講いただける環境が必要です。

プログラム内容

オリエンテーション	触れるケアの医療接遇の目的を確かめます。
看護における触れるケア	看護における触れるケアの意義と看護に活かす活用方法をお伝えします。
患者中心の医療接遇とは	OECD(経済協力開発機構)のHealth Care Quality Indicator(HCQI:医療の質指標)が提唱する医療の質に及ぼす3つの構成要素と質改善の枠組みについてお伝えします。
"おもてなし"の心だけでは足りない医療接遇	一般的な企業接遇(接遇マナー)と医療接遇との違いや、医療接遇で求められる安全性、患者への思いやりや気配りについて、具体的な事例を交えてご説明します。
第一印象を良くする患者への触れ方	快適な触れ方と不快な触れ方を体験し、触れ方の第一印象の重要性についてワークを通して学びます。
触れるケアのエビデンス	触れることの心身に及ぼす作用と効果を根拠(エビデンス)に基づいて学びます。
心地よさと痛みを伝える触覚	看護における触覚の重要性や触覚センサー、脳への作用機序など心地よさと痛みを伝える触覚について学びます。
タッチングの5原則	触れる接遇の本質である「タッチングの5原則」をワークを通して学びます。
看護独自の医療接遇	看護師だからこそできる触れる接遇の現場ですぐに実践できる具体的な導入方法を学びます。

